

総合戦略K P I 一覧

基本目標	数値目標	基準年	基準値	実績 (R 3)	目標値 (R 7)	施 策	重要業績評価指標 (K P I)	基準年	基準値	実績/累計 (R 3)	目標値 (R 7)
1 大鰯町における安定した雇用を支える”おしごと”の創出	認定農業者数 (農林課調べ)	H30	126人	127人	現状維持	① 地域の産業を活かしたしごとづくり	新規就農者数 (農林課調べ)	H30	29人	9人 / 41人	34人
							事業所数 (経済センサス基礎調査)	H30	347社	未公表	現状維持
	民営事業所 従業者数 (経済センサス活動調査)	H28	2, 171人	未公表	現状維持	② 働く場づくり	誘致企業数 (企画観光課調べ)	H30	7社	1社 / 10社	10社
							起業支援を受けて起業した 件数 (企画観光課調べ)	H30	1件	1件 / 3件	5件
2 結婚・出産・子育てなど”お若い世代の希望”を実現	合計特殊出生率 (人口動態統計)	H30	0. 93	未公表	現状より 増加	① 出会い・結びを育む	婚活イベントへの 圏域参加者数 (企画観光課調べ)	H30	103人	36人	150人
						② 産み・” おおわにっ子”を育てる	出生数 (人口動態統計)	H30	30人	24人	現状より 増加

総合戦略K P I 一覧

基本目標	数値目標	基準年	基準値	実績 (R 3)	目標値 (R 7)	施 策	重要業績評価指標 (K P I)	基準年	基準値	実績/累計 (R 3)	目標値 (R 7)					
3 大鰐町の魅力を高め”わがふるさと”の創出	町平均寿命の 全国との格差 (人口動態統計)	H27	男 2.5歳 町78.3歳 国80.8歳 女 1.3歳 町85.7歳 国87.0歳	未公表	男女ともに 縮小	① 安全・安心なふるさとづくり	特定健診受診率 (住民生活課調べ)	H30	46.0%	44.0%	60.0%					
							各種がん検診受診率 (保健福祉課調べ)	H30	胃がん： 23.1% 大腸がん： 23.4% 肺がん： 20.3% 子宮頸がん： 31.0% 乳がん： 30.9%	胃がん： 21.8% 大腸がん： 24.0% 肺がん： 20.1% 子宮頸がん： 35.5% 乳がん： 33.2%	胃がん： 40% 大腸がん： 40% 肺がん： 40% 子宮頸がん： 50% 乳がん： 50%					
												デマンドバス新規会員数 (企画観光課調べ)	H30	23人	22人	25人
												流融雪溝の整備延長 (建設課調べ)	H30	10,077.7m	351.3m / 11,000.1m	12,900m
						② ふるさと魅力アップ	ふるさと納税者数 (企画観光課調べ)	H30	913人	1,298人	2,000人					
							町イベントに参画した 子どもの数 (企画観光課調べ)	H30	200人	33人	300人					
4 新しいひとの流れによる” にぎわい”の創出	純移動数 (転入－転出) (住民基本台帳)	H30	転出超過 81人	転出超過 58人	現状より 減少	① 住みやすいわがまちづくり	移住相談件数 (企画観光課調べ)	H30	3件	14件	10件					
							空き家・空き地バンク 登録件数 (建設課調べ)	H30	0件	5件 / 8件	10件					
	宿泊客数 (企画観光課調べ)	R2	25,228人	38,930人	31,000人	② にぎわいづくり	住民参加型まちづくり事業 申請件数 (企画観光課調べ)	H30	0件	8件	10件					
							国内宿泊客数 (企画観光課調べ)	R2	24,248人	38,903人	30,900人					

令和３年度実施事業

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
１ 大鰐町における安定した雇用を支える”おしごと”の創出	① 地域の産業を活かしたしごとづくり	農業就業者への支援	農業人材力強化総合支援事業	青年就農者の意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な経営開始直後の所得を確保するため給付する。 年間 150 万円（夫婦の場合は 225 万円）を最長 5 年間給付する。（ただし、前年の世帯所得が 600 万円以上の方は交付対象外）	23, 295	交付人数 18 人（内夫婦 3 組） H29：5 人（内夫婦 1 組）、H30：1 人、R1：1 人、R2：2 人、R3：9 人（内夫婦 2 組）
		農業生産活動の支援	多面的機能支払交付金事業	地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源（水路・農道等）の質的向上を図るため、中山間直接支払の非対象農用地に対する水路・農道等の維持管理（地域活動）に支援する。	1, 182	交付実績：（2 組織） R2～R6 対象面積：田 23.98ha、畑 3.55ha 計 27.53ha
			中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域における多面的機能の維持・増進を図るため、自立的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取組みを実施するために交付金を交付する。	29, 807	交付実績（16 集落協定） ・交付対象面積等 対象戸数：633 戸、 対象面積：田 1,914,461 ㎡、畑 3,012,345 ㎡、計 4,926,806 ㎡
		農業経営負担の軽減	果樹共済加入率向上推進事業	果樹共済の加入率の向上を図り、自然災害に強い経営を図るため共済掛金の 10%を助成する。	491	対象者 89 名 総合 20% 対象面積 107.1 ha ※結果樹面積 945 ha 特定 3・2 点 10% 加入実績 11.3%
			園芸施設共済推進事業	園芸施設共済の加入率向上対策として加入にかかる経費の 25%を助成。	632	対象者 72 戸 加入棟数 410 棟
			収入保険加入促進事業	農業者の経営努力では避けられない、自然災害や農産物の価格低下などによって売上が減少した場合に、その減少分の一部を補償する保険の加入率向上対策として、加入にかかる経費の 30%を助成。	1, 889	対象者 63 戸
		農業経営体の育成	農業生産施設整備促進事業	ミニトマト、トマトなどの生産組合の簡易ハウス等整備助成（上限 1/2）並びに付属機械類等の購入助成（上限 20 万円）等	8, 006	・簡易園芸施設の助成： ミニトマトビニールハウス 3 棟 ・園芸作物用機械等の助成：ミニトマト選別機等 9 件 ・果樹用施設の助成： シャインマスカットレインコート 1 件 ・米生産施設の助成： フレコンバッグスケール 1 件
		産業活性化による雇用拡大	事業承継推進事業	農業や観光等の分野にも担い手育成の取組を進め、地域産業の振興、地域特産品の伝承、事業承継、雇用や事業の創出を図る。	26, 700	・大鰐温泉もやし増産・安定供給及び販路拡大事業 関東方面での催事への参加のほか、関西方面等へ販路開拓、新規取引店の発掘を図る。 大鰐温泉もやし生産量 76,757 束（対前年比 89%） 「大鰐温泉もやし」取材対応件数 21 件、新規取引店 48 軒 ・大鰐町シティプロモーションによる産業振興事業 廃業危機となっている菓子店や宿泊施設等の担い手発掘・育成により、事業承継を目指す。 令和元年～2 年にかけて実施した町内事業者ヒアリングの結果をもとに事業承継を希望する事業者と承継に向けて協議を行った。 ・町の特産品を活用し「ブラッディアポーゼリー」等商品開発を行った。 ・大鰐町を持続可能にする地域経営人材育成事業 町に関心のある担い手候補者に対して「大鰐なりわい塾」を全 5 回開催。 計 136 名受講。

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
2 結婚・出産・子育てなど”お若い世代の希望”を実現	② 働く場づくり	企業誘致	企業誘致推進事業	青森県企業誘致推進協議会負担金	35	青森県企業誘致推進協議会は、県内の企業立地促進のため、企業誘致戦略研修や広報宣伝活動等を行っている。
		起業・創業支援	選ばれる青森への挑戦資金事業	選ばれる青森への挑戦資金の融資を受けた方に対して、県による信用保証料の 30%補給後の信用保証料を全額補給。 融資額 1,000 万円以内かつ融資期間 7 年以内	122	実績 1 件
			経営安定化サポート資金事業	青森県経営安定化サポート資金の融資を受けた方に対して、県による信用保証料の 30%補給後の信用保証料を全額補給。 融資額 1,000 万円以内かつ融資期間 7 年以内	915	実績 2 件
	① 出会い・結びを育む	出会いの場創出・結婚祝福推進	婚活支援事業	弘前圏域定住自立圏 8 市町村が連携し、結婚を希望する独身の方に対し、より多くの出会いの場を提供するためイベントを開催。	237	弘前圏域内市町村において、「スポーツ婚活で健康と出会いをGET!!」、「魅力アップセミナー&交流会」などの婚活イベントを実施。 ひろさき広域出愛サポートセンター（弘前市ヒロロ）において、会員登録者数を増やすために、休日登録会を実施。 成婚件数 5 件（うち大鰐町 0 件）
			結婚新生活支援事業	少子化対策や活力あるまちづくりを推進するため、令和 3 年 1 月 1 日以降に婚姻した方に対し、婚姻に伴う新生活に係る費用（住宅費、引越費用、リフォーム費等）を助成。	403	助成件数 2 件
	② 産み・”おおわにっ子”を育てる	安心して出産できるまちづくり	妊婦健康診査事業	妊婦委託健康診査を医療機関に委託し実施することにより、妊婦の健康管理の向上を図る。（妊婦委託健康診査受診 14 回分助成、多胎妊婦については最大 7 回まで追加）	2,213	実施者数：実 34 人、延 252 人（1～14 回） 超音波検査 75 人（延）、子宮頸がん検査 18 人、HTLV-1 抗体検査 18 人 性器クラミジア検査 18 人、妊婦歯科健診 5 人
			不妊治療費給付事業	■特定不妊治療費助成事業 青森県特定不妊治療費助成事業を活用して治療する夫婦に対して、その治療に係る費用の一部を助成。 【対象者】 ①青森県特定不妊治療費助成事業費補助金の交付決定を受けている。 ②特定不妊治療開始から申請日まで夫婦のいずれかの者が大鰐町に継続して住所を有し、居住の実態がある。 ③町税に滞納がない。 ■一般不妊治療費助成事業 不妊治療を受けている夫婦に対し、一般不妊治療に要する費用の一部を助成する。 【対象者】 ①不妊治療によらなければ妊娠の見込みがない、または極めて少ないと医師に診断されている。 ②夫婦のいずれか一方が 1 年以上前から大鰐町に住所があり、実際に居住している。 ③町税に滞納がない。 ④治療期間の初日における妻の年齢が 35 歳以下	155	助成件数 ・特定不妊治療：1 件 ・一般不妊治療：3 件

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			風しんワクチン接種支援事業	妊婦等に対する風しんの感染予防を図り、先天性風しん症候群の発生を未然に防ぐことを目的に、風疹抗体検査を必須要件とし、風しん予防接種費用の助成。 【対象者】 大鰐町に住所がある方で、下記に該当する方。ただし、妊娠中の女性、過去に風しん抗体検査を受けたことがある方や風しんに罹ったことがある方を除く。 ①妊娠を予定または希望する女性とその夫、②妊婦の夫、③40～57 歳男性 【支援内容】 風しん抗体検査、風しん予防接種ともに無料	1,896	予防接種 9 人 抗体価検査：58 人
			ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	ハイリスク妊産婦の周産期母子医療センターの通院等に係る交通費等に対して上限 50,000 円を助成する。	18	助成件数 1 件
		子育て支援	移住・子育て住宅支援事業	移住者もしくは子育て世帯の住宅の新築または建売、中古住宅の購入及び住宅（空き家を含む）のリフォームをされる方に対して、その経費の一部を助成。 【対象者】 ・補助対象住宅の所在地に住民登録があり、5 年以上継続して居住している方（※申請時、当該所在地に住民登録がない場合は、実績報告までに住民登録することができる方） ・町税に滞納がない方 ・町その他制度の補助を受けておらず、また、過去に町が実施した住宅支援事業の補助を受けていない方 【支援内容】 ・新築または建売、中古住宅購入の補助金：工事費の 3%で移住者の場合は上限額 1,000 千円、子育て世帯の場合は上限額 500 千円（工事費 5,000 千円以上のもの） ・リフォームの補助金：工事費の 30%で上限額 300 千円（工事費 300 千円以上のもの） ・空き家等を活用する場合は、リフォームに上限額 200 千円を上乗せ。	4,168	新築 6 件 中古住宅 2 件 リフォーム 1 件 計 9 件 （うち、移住者 2 件、子育て世帯 7 件）
			大鰐の元気！もりもり子育て応援事業	出産・子育て世代の大鰐町に対する郷土愛の醸成と、大鰐産品の地域内利用を促進し、町ぐるみ「オール大鰐」での産業の活性化を促し、子育て支援の充実を図る。	818	実績：23 人
			子ども医療費給付事業	0 歳から中学 3 年生までの医療費について全額助成。	15,771	乳幼児医療費 7,120,569 円（通院 6,625,880 円、入院 494,689 円） 対象者数：222 人、給付件数：3,580 件 子ども医療費 8,650,501 円（通院 8,003,685 円、入院 646,816 円） 対象者数：338 人、給付件数：1,904 件
			ひとり親家庭等医療費給付事業	18 歳未満の児童を扶養するひとり親家庭等の父又は母及びその児童と、父母のいない児童の医療費を助成。 【対 象 者】 町内に住所を有するひとり親家庭等の 18 歳に達する日以降における最初の 3 月 31 日までの児童を養育する父又は母とその児童（所得制限あり） 【支援内容】 児童は全額助成、父又は母は医療機関ごとに 1 月に 1,000 円を控除した額を助成	4,944	母子家庭延人数 1,916 人 4,140,254 円 父子家庭延人数 235 人 803,391 円 合計 2,151 人 4,943,645 円
			保育料軽減対策事業	保育所等の利用者負担額を軽減するため、国の徴収基準より料金を軽減。 【対 象 者】 大鰐町から支給認定を受けた児童の保護者 【支援内容】 国基準より引き下げた利用者負担額を設定し、所得階層についても細分化している。	6,353	保育料軽減対策分：6,353,220 円 3 月末時点の児童数：226 人

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			予防接種推進事業	予防接種法に基づき、各種予防接種を公費で負担。	7,387	不活化ポリオ 0 人、麻しん風しん 80 人、四種混合 95 人、日本脳炎 138 人、BCG 28 人、水痘 47 人、ヒブ 96 人、二種混合 45 人、小児肺炎球菌 96 人、B 型肝炎 76 人、子宮頸がん 26 人、ロタウイルス 56 人
			遺児入学祝金等給付事業	義務教育修了前の遺児等に弔慰金及び入学・卒業祝金を給付。 【対 象 者】 町内に住所を有する父、母又は父母を亡くした等の義務教育終了までの児童 【支援内容】 弔慰金：10,000 円、入学祝金（小学校・中学校）：7,000 円、卒業祝金（中学校）：10,000 円	20	入学祝金：該当なし 卒業祝金：2 名 20,000 円
			就学援助費	・就学援助費・特別支援就学奨励費 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の保護者等に対して教育を受ける上で必要な学用品費等や学校給食費を扶助する。 ・遠距離通学費 遠距離地域から通学する児童生徒の保護者に対して、通学費の全額又は一部を扶助する。	8,696	【小学校】計：5,417,085 円 学用品費等：1,612,845 円、給食費：1,622,250 円、遠距離通学：2,181,990 円 【中学校】計：3,278,426 円 学用品費等：1,249,561 円、給食費：1,101,600 円、遠距離通学：927,265 円
			インフルエンザ予防接種 支援事業	6 か月から 12 歳までのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成。 【対 象 者】 町内に住所を有する 6 か月から 12 歳の方 【支援内容】 6 か月から 12 歳：接種費用 1 回につき 3,000 円を 2 回助成。	1,985	6 か月から 6 歳（小学校就学前） 2 回接種 169 人、1 回のみ接種 21 人 7 歳から 12 歳 2 回接種 132 人、1 回のみ接種 55 人
			保育事業	延長保育事業、一時預かり事業、障がい児保育事業	5,617	延長保育事業 ：4,325,600 円（3 か所） 一時預かり事業 ： 211,200 円（1 か所） 障がい児保育事業：1,080,000 円（2 か所）
			放課後保育事業	中央児童館管理委託料、放課後児童健全育成事業、母親クラブ活動費補助金、放課後子ども教室推進事業費	16,323 1,364	中央児童館管理委託料：11,592,743 円（大鰐町社会福祉協議会へ指定管理） 放課後児童健全育成事業委託料：4,618,574 円 放課後児童クラブ：25 人/日、その他：7 人/日 母親クラブ活動費補助金：111,000 円 放課後子ども教室推進事業：1,363,653 円（中央公民館:13 人/日）
		未来の人財づくり	特別支援教育支援事業	小・中学校の普通学級に在籍する、学習障害や多動傾向等により、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置	8,797	令和 3 年度は、小学校へ 3 人、中学校へ 2 人を配置し、学習支援や問題行動がある児童生徒への対処を行った。特別支援教育支援員を配置したことにより、支援が必要な児童生徒に手厚い対応が行うことができた。
			生きる力育成事業	学校長が大鰐町総合振興計画に基づいた独自性のある学校経営を行い、特色ある学校づくりができるよう補助金の交付を行う。 【対象となる事業】 学力向上につながる事業、体験学習（文化活動）推進事業、ものづくり（芸術・研究テーマ）支援事業、その他教育長が認める事業	1,050	小学校では、鰯っこ暗唱詩集を作成し、文芸作品を暗唱させることで、文学的興味や関心を高めるとともに、豊かな心を育んでいる。また、スキー教室の実施により、ふるさとへの愛着を育む活動を行っている。 中学校では、学力の向上を図る取り組みとして、問題集の購入や、実力テストを実施して学力の分析を行っている。また、総合的な学習の時間においてキャリア講話を実施し、目標を高く持ち、努力を惜しまないことの大切さについて考える機会を与えることができた。
			児童通学安全対策事業	平成 27 年度から、1 つの小学校に統合され、一部児童は通行量の多い不慣れな道路を通学しなければならない。また、スクールバスも運行するが、道路状況が悪く、学校から離れた場所に停車せざるを得ないことから登下校の安全確保が懸念されている。そのため、小学校までの通学路の危険箇所に通学指導員を配置する。	2,070	通学指導員：登校時 6 箇所、下校時 3 箇所配置 4、5 月は小学校から福祉センターまでの下校時に 2 名配置 ※新入生が福祉センターまで下校する際の安全確保及び指導のため。 指導員配置箇所における交通事故発生件数：0 件 通学指導員謝礼：1,742,500 円 通学指導業務委託料：327,040 円

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
3 大鰐町の魅力を高め”わがふるさと”の創出	① 安全・安心なふるさとづくり	地域共生社会の推進	コミュニティ助成事業	主に各区会に対し、地区の集会センター等の施設備品等の整備に係る経費を自治総合センターの宝くじコミュニティ助成を活用し、助成している。 上限 2,500 千円。	4,600	虹貝区会及び九十九森区会の2団体へ助成し、各集会施設における備品を整備した。 (エアコン、電子レンジ、冷蔵庫など)
		平均寿命を1歳延そうプロジェクト	健康イベント事業	平均寿命を1歳延ばそうプロジェクトを推進し、健康イベントを実施する。	63	成人式 40人（健康展示とパンフレット配布） 健康イベント（健康相談）実施予定としていたが健康展示のみ実施
			健診・がん検診事業の拡充	生活習慣病の予防と早期発見・早期対応・早期治療のため、特定健康診査、各種がん検診、骨密度検診、歯周疾患検診、肝炎検査、胃がんリスク検診を実施する。 各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨密度検診の自己負担金を無料としている。 また、生活習慣病の早期発見のため、30歳～39歳に基本健康診査を実施している。	8,243 4,021	特定健康診査 840人 国保人間ドック受診者 118人
			健康の日の推進等	地区や団体の会合に出向き、健康測定をする出張健康鑑定団を実施する。	3,245	骨密度測定装置及び体組成計の購入 3,057千円 新型コロナウイルス感染症感染拡大により健康鑑定団等を中止としたため、おおわに健康情報便を每户配布により発行（2回） 血管年齢測定（庁内実施）11人
			高齢者予防接種推進事業	予防接種法に基づき予防接種を実施。 【対象者】 ①町内に住所を有する65歳以上の方 ②町内に住所を有する65、70、75、80、85、90、95、100歳の方。 ただし、過去に接種した方は除く。 【支援内容】 ①インフルエンザ予防接種：接種費用1回につき3,000円を1回助成。 ②高齢者肺炎球菌予防接種：接種費用7,332円を上限に助成。	7,962	インフルエンザ予防接種：6,874千円、2,304人 高齢者肺炎球菌予防接種：1,088千円、 149人
		雪対策	流融雪溝整備	流融雪溝の整備	49,621	居土地区の融雪溝整備工事：L＝ 351.3m
		安全・安心な福祉対策	自殺予防対策事業	「こころの体温計」「こころの相談会」「ゲートキーパー養成講座」を実施。 「こころの体温計」はインターネットで誰でも利用可能。 「こころの相談会」は各相談会毎に事前申し込みして利用。 健康フェスタにおいて福祉系のコーナーを設置し、普及啓発グッズを配付する等、自殺予防を周知。 「いのちとこころを支える大鰐町自殺対策計画」を策定。 （平成31年度から令和5年度の5か年計画） つなぎシートの運用。（令和3年度開始）	194	・こころの相談会：司法書士、精神保健福祉士、保健師による総合的な相談会を2回実施。利用者は3名。 ・こころの体温計：インターネット上で、現在の心の状態を確認することが出来るシステムを運用。アクセス数は4,931件。 ・9月の自殺対策週間及び3月の強化月間の際に、広報での周知や庁内展示を実施。 ・窓口におけるポケットティッシュの配布。 ・健康イベントにおいて自殺予防関連チラシを配布。 ・大鰐町いのちとこころを支える自殺対策本部会議及び大鰐町自殺対策ネットワーク会議（大鰐町健康づくり推進協議会）を開催し、本町における自殺の現状及び計画の進捗状況について検討し、情報共有を図った。 ・つなぎシートの活用状況：5件
			見守り活動推進事業	ほのぼの交流協力員や民生委員・児童委員をはじめとする住民と、新聞配達業者や宅配業者等の民間事業者の協力等により、さまざまな見守り活動を広範かつ重層的に実施し、見守りの強化を図ることにより、高齢者や障害者をはじめ、誰もが共に支え合い、住み慣れた地域の中で、安心して暮らせるような地域福祉社会を構築することを目的として実施。 主にほのぼの交流協力員事業、見守り活動推進事業の2事業を実施。	365	ほのぼの交流協力員数：53人（28グループ） 住民のつどいの場実施の支援：1回（声がけ・周知・当日の参加等） 見守り活動推進事業として、アンケート調査、マスク配布、見守り活動に係る普及啓発等を実施。

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			福祉安心電話サービス事業	概ね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯並びにこれに準ずる世帯に属する高齢者を対象に緊急通報装置（福祉安心電話）を設置することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ること、また地域のつながりを維持することを目的として装置設置費及び維持費等の一部を助成	74	新規設置台数：2 台（保存機種設置 2 台） 取り外し台数：2 台 総設置台数：12 台（停止中 3 台） 機種更新台数：0 台 利用状況：通報 10 件 （緊急 4 件、停電 1 件、相談 5 件、電源投入 0 件、電池切れ 0 件）
			認知症施策推進事業	認知症機能低下予防事業、さわやかシニア教室、もの忘れ検診、成年後見制度普及啓発、健やか・見守りネットワーク模擬訓練、徘徊高齢者の早期発見・保護事業、認知症介護家族の集い、認知症カフェ、成年後見制度利用支援事業、認知症サポーター養成事業等を実施。また、認知症地域支援推進員の配置及び認知症初期集中支援チームを設置。	2, 035	認知症サポーター養成事業、健やか・見守りネットワーク模擬訓練及び認知症カフェは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 介護予防教室（通所型 5 回・通信型 5 回、延べ 57 名）、 さわやかシニア教室（教室型 32 回・通信型 18 回、延べ 2, 034 名）、 もの忘れ検診（7 回、75 名）、 徘徊高齢者の早期発見・保護事業（見守りカード交付 3 名、登録 6 名）、 認知症初期集中支援事業：チェックリスト配布件数 208（回収率 66. 8%）、 認知症介護家族の集い（1 回、延べ 5 名）、 成年後見制度普及啓発：相談件数 7 件、成年後見制度町長申立 1 件。
		安全・安心な医療体制の整備	医療確保対策事業	広域における医療確保のための各種負担金等 医師確保対策事業負担金、弘前市二次救急輪番制病院運営事業負担金、休日在宅医診療運営事業負担金、高度救命救急センター運営費補助金、弘前市急患診療所管理運営費負担金	6, 109	県救急医療情報システム負担金：2 千円 医師確保対策事業負担金：192 千円 弘前市二次救急輪番制病院運営事業負担金：1, 935 千円 休日在宅医診療運営事業負担金：92 千円 高度救命救急センター運営費補助金：3, 440 千円 弘前市急患診療所管理運営費負担金：448 千円
		安全・安心な防災対策	防災対策事業	防災対策の強化を実施する。	43, 896	消防団車両の更新、非常用食料の備蓄を計画的に実施した。また、避難所運営の際に感染症対策として必要となるマスクや携帯用簡易トイレ、トイレトペーパー等に加え、女性や乳幼児、高齢者用の衛生用品を備蓄する等、防災体制の強化を図った。
	② ふるさと魅力アップ	公共交通の活性化	公共交通活性化事業	【デマンドバス】 町内 3 路線（デマンドバス）の運行経費に助成。 【弘南鉄道】 弘南鉄道の利用促進に係る経費、運行費及び安全輸送整備費等を補助。 【その他】 その他各公共交通を維持するための補助を実施。	46, 982	デマンドバス運行補助金：26, 862 千円 弘南鉄道関係負担金及び補助金：16, 755 千円 その他公共交通維持補助金：3, 365 千円
		ふるさと魅力アップ	魅力発信事業	更なる町の魅力発信と周知活動を行うため、スタッフジャンパーを作成。 観光客受入環境整備として、町中に設置してある「東北自然歩道」の案内看板について経年劣化していたことから改修。	2, 031	観光の閑散期となる冬期のイベントでスタッフジャンパーを着用することにより、更なる町の魅力発信と周知活動を行うことができ、町の情報発信に繋がった。 経年劣化が著しい「東北自然歩道」の案内看板を更新したことにより、コースに含まれる「茶臼山公園」や「阿闍羅山」に訪れる登山客や観光客に正確な案内をすることができ、町のイメージアップに繋がった。
			スキー育成環境整備事業	大鰐町の小・中学生に対して大鰐温泉スキー場のリフト料金を無料とする。 【対 象 者】 大鰐町内の小・中学校に在学している児童・生徒及び大鰐町に住所を有し、町外の公立学校に就学している児童・生徒 【支援内容】 大鰐温泉スキー場のリフト 1 日券が無料 1 シーズンの利用回数は 5 回まで	563	（延べ人数） 小学生 306 人 351, 900 円 中学生 136 人 210, 800 円 計 442 人 562, 700 円
			ふるさと納税推進事業	ふるさと納税を推進していくため、ふるさと納税収納代行業務を「㈱さとふる」、「楽天㈱」への委託により実施。	8, 304	インターネットのポータルサイトに掲載し受付している。令和 3 年度のふるさと納税寄付額は、16, 912 千円。

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			文化団体等育成支援事業	各種文化団体等へ補助。 文化協会補助金、三ツ目内獅子踊り保存会補助金、環境文化ボランティア協会補助金、大鰐居士登山囃子保存会補助金、俳句の町づくり実行推進委員会補助金、大鰐登山囃子保存会補助金、読書団体連絡協議会補助金、子ども会育成連合会補助金、連合婦人会補助金、P T A連合会補助金、青少年健全育成協議会補助金	950	文化協会補助金：162,000 円 三ツ目内獅子踊り保存会補助金：36,000 円 環境文化ボランティア協会補助金：63,000 円 大鰐居士登山囃子保存会補助金：36,000 円 俳句の町づくり実行推進委員会補助金：204,386 円 大鰐登山囃子保存会補助金：36,000 円 読書団体連絡協議会補助金：19,173 円 子ども会育成連合会補助金：65,000 円 連合婦人会補助金：199,000 円 P T A連合会補助金 56,000 円 青少年健全育成協議会補助金：73,000 円
4 新しいひとの流れによる ”にぎわい”の創出	① 住みやすいわがまちづくり	住宅支援	空き家等対策事業	空き家等の適正管理、積極的な利活用、管理不全な空き家の抑制を図るために、空き家等対策計画に基づき、取組を実施。	1,866	・空き家等所有者特定業務 2 件 ・特定空家解体 0 件
			地域情報通信基盤整備事業	平成 23 年度より町全域に光ファイバの供用を開始している。光ファイバは町所有である。町内であればどこでも光ファイバに接続できる。	10,338	光ファイバケーブルの保守管理を実施。 (光ファイバケーブル保守点検委託料、電柱添架料、光ケーブルの移設工事等)
		U I ターン支援	移住促進事業	圏域等で主催する移住セミナーへ参加し、移住検討者に対して町の P R や相談受付を実施。また、移住や地域居住を希望・検討している方を対象に「おためし居住体験」を実施。	629	弘前圏域オンライン移住セミナーに参加。首都圏在住で、地方への移住を検討している相談者に対して、移住先での暮らし方を説明した他、大鰐温泉等町の P R を実施。 また、移住や地域居住を希望・検討している方を対象に「おためし居住体験」を実施し、移住・定住の促進を図った。 おためし居住体験 0 件（コロナによる受入停止）
	② にぎわいづくり	資源・人材を活かしたにぎわいづくり	公園整備・運営事業	あじやら公園、茶臼山公園、児童公園等を指定管理者に管理委託。	123,104	都市公園指定管理料 (あじやら公園、茶臼山公園の施設等改修及び維持管理)
			住民参加型まちづくり事業	地域住民が主体的に取り組む活動に対し補助金を交付する住民参加型まちづくり事業を実施。	2,347	申請件数 8 件
			各種イベント活性化事業	四季を通して町内において各イベント（万国ホラ吹き大会、大鰐温泉サマーフェスティバル、ちどりあしまつり等）が実施されるよう各実行委員会に助成。 イベントを実施しやすい環境の整備。	765	・万国ホラ吹き大会 370 千円 ・サマーフェスティバル：395 千円 ・ちどりあしまつり（中止）
		街なか商店活性化支援	まちあるき推進事業	9 市町村で連携し、中南津軽地域のまち歩きを通して地域の魅力を発信。	125	まちなかコースを実施。まち歩き参加者 27 人
		スポーツ行事の活性化支援	生涯スポーツ推進事業	地域住民が気軽にニュースポーツをととして、健康や仲間づくりの推進を趣旨とした「ニュースポーツフェスティバル」を虹貝多目的広場を会場に実施。	324	令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためニュースポーツフェスティバルは中止。(委員報酬及び事務費等)

地方創生交付金に係る事業内容

○事業承継推進事業

事業費	事業概要
26,700千円	大鰐温泉もやし増産推進委員会（町、大鰐温泉もやし組合、プロジェクトおおわに）が平成30年度まで3年間実施した、大鰐温泉もやしの増産・安定供給の取組をきっかけに、農業や観光等他の分野にも担い手育成の取組を進め、地域産業の振興、地域特産品の伝承、事業承継、雇用や事業の創出を目指す事業。 実施主体は、町、大鰐温泉もやし組合、プロジェクトおおわに、地域商社の4者が構成する大鰐温泉もやし増産推進委員会。
【1】 大鰐温泉もやし増産・安定供給及び販路拡大事業	
	7,083千円
	（1）大鰐温泉もやしの安定供給に向けた生産力の向上及び販路拡大 通年栽培や生産工程の効率化等により各農家の生産力の向上を図るとともに、関西方面等への販路強化、新規取引店の発掘等への取組。 ○大鰐温泉もやし生産量 76,757束、対前年比89% ○大鰐温泉もやしに関する取材対応件数 21件 ○大鰐温泉もやし新規取引店 48軒 （2）地域商社の経営支援 町の物産の販促活動を担う地域商社の事業計画の作成や事業執行に関わる助言、安定した収益源の確保等について、専門家による支援を行う。
【2】 大鰐町シティプロモーションによる産業振興事業	
	16,082千円
	（1）宿泊施設や地域内事業者との連携による観光産業振興事業 廃業危機となっている老舗商店や宿泊施設の新たな担い手を発掘、育成し、事業を承継する。その他、特産物を活用したメニューの開発やアクティビティの開発、実践。 ○事業承継 店主が高齢化した老舗店舗の事業承継に向けて、展開する事業内容の検討、関係事業者間の調整及び店舗の設計業務を進めた。 ○メニュー開発 ブラッディアポーゼリードリンク もやしピザ、もやしタバスコ、大鰐温泉もやし入り鍋、大鰐高原りんごピザ ○アクティビティ みんなで青空ダーツ（コロナにより中止）

(2) 情報発信と交流を通じた大鰐ファンの拡大	
○大鰐ファンクラブの運営 大鰐町を応援する県内外のファンを募り、有料会員として組織し、会員に対して記念品を贈った。令和3年度末時点の会員数94名。 ○情報発信 インターネットユーザーに大鰐温泉もやしや町の魅力を効果的にPRするために、ウェブサイト及びフェイスブックにイベント情報や町の観光スポット等を掲載。	
【3】 大鰐町を持続可能にする地域経営人財育成事業	3,535千円
(1) 大鰐なりわい塾	
町内の若手経営者に限らず、町外の大鰐に関心のある担い手候補者に対して、セミナーやフィールドワーク等を行い、これらの事業活動を通じて地域に貢献できる人の輩出を目指す。計5回実施、136名参加 ①「地域の現在を理解し、自分が何がしたいのか、自分に何ができるかを探る」 講師：中村 年春 氏（大東文化大学名誉教授） 参加者数：26名 ②「持続可能な社会に向けた私たちのあり方と生き方」 講師：渋谷 寿一氏（NPO法人共存の森ネットワーク理事長） 参加者：39名 ③「ゼロから学ぶ売れる仕組みづくり」 講師：佐藤 大介氏（（株）東北阿レンジャーズ代表取締役） 参加者：34名 ④「実践と経験から得た向き合うことの大切さ」 講師：古里 宣光氏（（株）ワールドワン取締役） 参加者：37名 ⑤「地方活性化アイドルの挑戦」 講師：王林 氏（りんご娘） オンライン講演	
(2) 元気隊キッズに対するふるさと教育	
小学生から郷土愛を持ち、地域への誇りを養ってもらおうと、大鰐小学校の5～6年生が「元気隊キッズ」として活動している。例年10月にキッズが東京に赴き、自分たちが栽培・収穫した農作物を販売体験するが、新型コロナウイルス感染症の影響により3年度は中止となった。代替として、学校でキッズ自らが育てた野菜を鰐comeの産直に持ち込み販売した。	